

南山看護上級試験範囲一覧

第1分野	人材育成	スタッフ養成の指導 新人教育の指導
第2分野	老人保健施設の理念	介護老人保健施設の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準の指導 入所、退所、通所時の対応指導
第3分野	在宅ケア支援機能	在宅ケア支援促進の為のポイント指導 在宅ケア支援の具体的な方法の指導
第4分野	ケアプラン	ケアプラン作成に向けた施設のしくみについての理解 ケアプラン作成における評価基準
第5分野	リスクマネジメント	リスクマネジメントの視点指導 事故発生時の対応と予防指導 身体拘束の問題の指導 転倒事故等の法的責任についての指導
第6分野	連携	家族・地域社会、関連施設との連携の理解
第7分野	薬剤管理	在庫管理、経費節減の理解
第8分野	看護の役割	ケア業務の法的・倫理的責任の理解
第9分野	リハビリテーション	生活動作機能訓練指導 資格取得指導 レクリエーションリハビリの指導 痴呆性老人のリハビリ方法 関節可動域訓練
第10分野	居宅サービス	医学的管理サービスの機能 訪問看護の機能 訪問介護の機能 訪問入浴介護の機能 地域リハビリテーションの機能 通所介護の機能 短期入所介護の機能 福祉用具貸与の機能

上級試験

第1分野	人材教育
解説	痴呆性老人のケアは、一人ひとりの利用者様の様々な言動に直面することから始まり、その中から具体的な対応が求められる。又、体験したものを理論的に裏づけるためにむ、その生理学や病理学、心理学を学ぶことによって、提供されるケアの質は大きく向上する 痴呆性老人に関する基本的な知識を積み上げていく為に、特に精神科医を中心とした専門家からの情報をもとに正確な理解を高める。又、施設内部・外部のあらゆる研修機会を活用して学ぶ。
例題	養成の基本的な考え方を述べよ。
解答	肌で感じるケアと裏づけられたケア
例題	養成の実際について述べよ
解答	専門的な知識の集積と学習会などへの積極的な活用

上級試験

第2分野	老人保健施設
解説	介護老人保健施設は、解答でもも挙げた施設運営についての重要事項に関する規定を定めておかなければならない。
例題	介護老人保健施設は施設運営についての重要事項を述べよ
解答	1. 施設の目的及び運営の方針 2. 従業者の職種、員数及び勤務の内容 3. 入所定員 4. 入所者に対する介護保険施設サービスの内容及び利用料及びその他の費用の額 5. 施設の利用にあたっての留意事項 6. 非常災害対策 7. その他施設の運営に関する重要事項

上級試験

第3分野	在宅ケア支援機能
解説	家庭復帰・在宅ケア支援の促進には、入所前から退所後までの継続した支援体制を確立すること。 地域との対話が大切である。これからのサービスの利用者が多い施設ほど家庭復帰と在宅ケア支援が機能的に循環している。利用者・家族との信頼関係の構築が大切である。ここでいうリハビリは在宅生活を見越したものである。リハビリのゴールとそこに到達する機関を明確に設定し、本人・家族にもそのプログラムとプランについて同意を得る必要がある。在宅支援プログラムは、入所期間中の療養プログラムの延長線上にある。ケアマネジャーと施設との連携が上手にとれている施設ほど在宅ケア支援も的確に行われている。在宅ケアシステムを作る
例題	在宅ケア支援促進の為のポイントを述べよ
解答	入所者や家族に介護老人保健施設の役割や機能を十分に説明し、理解してもらう。入所期間中から、在宅復帰を目指すということを高齢者や家族に意識づけて、その意思を高めるように心理的環境づくりを行う。家族とのつながりを重視し、家庭復帰実現に向けて、外泊の促進など積極的な働きかけを継続する。リハビリを充実してADLの拡大を図る。在宅ケアサービスを的確に提示して、在宅ケア支援のプラン作りやサービス提供者との連携・調整を積極的に図る。地域や関連諸機関との連携を強化し、退所後の生活に関連するフォローを充実している。
例題	在宅ケア支援の具体的方法を述べよ
解答	老人保健施設の役割・機能に関する地域への広報活動 入所時から入所期間中の在宅療養へ向けた本人・家族への継続的な働きかけと環境作り リハビリを充実して、ADLの拡大を図る。在宅ケアサービスの的確な提示、在宅ケアプログラムの作成 サービス提供者・関係諸機関との連携、在宅生活に関するフォロー

上級試験

第4分野	ケアプラン
解説	課題分析と介護サービス計画が中核となり、これは、「要介護者等のニーズに適応したサービスを効果的・計画的に提供する観点から、介護サービス計画を作成して介護を給付する事を保険給付を行う上での基本とする」という考え方によるものである。 ケアカンファレンスでは、利用者の希望や家族の意見などをもとに、ケアに関わる専門職がそれぞれの視点から意見を述べ、情報を共有し合い、総合的に競技・検討を行い、ケアの必要性を検討する。そして、文書化されるケアプランは、分かりやすい表現で記載され、利用者・家族にも理解・納得されるものでなければならない。
例題	ケアマネジメントの一連の流れを述べよ
解答	1. 課題分析及び介護サービス計画作成 2. 介護サービスの仲介や実施 3. 継続的なサービスの管理や評価
例題	ケアカンファレンスを行うための要件を述べよ
解答	1. ケアに関わるすべての職種と利用者・家族の参加 2. 情報の共有化 3 ケアカンファレンスにおける役割(司会・記録など)の明確化 4. ケアカンファレンスの時間的管理: 5分から15分/件が望ましい

上級試験リスクマネジメント

第5分野	リスクマネジメント
解説	利用者が一度でも転倒事故を引き起こすと、そのときは骨折につながらなかったとしても、動く事に過度の不安や恐怖感を抱き、ひいては生活意欲さえ失う事もある。したがって、事故に十分配慮しつつ利用者の残存能力を最大限に生かしながら、意義ある生活が過ごせるよう援助することが老人保健施設におけるケアの基本となる。 各施設においては、事故防止のための対策規定の策定が必要となる。規定には解答の事項に関する内容が含まれていなければならない。 最初は一時的として始めた身体拘束が時間の経過と共に、常時の拘束となってしまう、そして、場合によっては身体機能の低下とともに高齢者の死期を早める結果にもつながりかねない。 基本的に身体拘束によって事故防止を図るのではなく、ケアのマネジメント過程において、事故発生の防止対策を尽くすことにより、事故防止を図ろうとする考え方である。
例題	事故防止対策の重要項目と課題を述べよ
解答	重要項目: 1.事故防止に関する委員会の設置 2.事故防止マニュアルの作成 3.事故事例の分析評価 4.マニュアルの定期的な見直し 課題: 施設自体と施設に所属する全職員が事故防止の重要性を認識し、組織全体で防止体制の確立を図る事
例題	事故防止対策規定の項目述べよ
解答	1. 事故防止の為の施設内体制 2. 事故防止対策委員会の設置について 3. 事故、ヒヤリ・ハット(ニアミス)事例の報告体制について 4. 事故発生時の対応について 5. その他事故の防止に関する事項
例題	身体拘束による「悪循環」を述べよ
解答	痴呆があり、体力も弱っている高齢者を拘束すれば、ますます体力は衰え、痴呆が進む。その結果、せん妄や転倒等の二次的・三次的障害が生じ、そのためにさらに拘束を必要とする状況が生み出されるのである。
例題	身体拘束をしなかったことを理由に事故責任をとられるか。
解答	仮に転倒事故が発生した場合でも「身体拘束」をしなかった事のみを理由として法的責任を問うことは通常想定されない。むしろ、施設等として、利用者のアセスメントに始まるケアのマネジメント過程において身体拘束以外の事故発生防止のための対策を尽くしたか否かが重要な判断基準となると考えられる。

上級試験

第6分野	連携
解説	利用者の家族・知人、ボランティアの協力による面会を頻繁に行ってもらうためには、老健施設の趣旨や運営理念を正しく理解してもらうことが必要である。具体的には、行事予定を知らせることにより施設療養の実態、サービスの内容や意義を理解してもらい、積極的な参加を呼びかける。入所者への面会は、一般に入所当初は来訪が多いが、入所日数が長くなるにつれて急速に減少することが多い。これは利用者にとって孤独感を深めることになるので、できるだけ平均的な面会者の来訪が得られるよう、家族・知人等に対して参加と協力を呼びかける。また、利用者の社会生活への参加が身体的・精神的に大きな影響を与え、生きがいにも結びつくため、地域に対しても積極的な働きかけが必要である。老健施設の利用者は病状の回復・安定期にある要介護者等であるが、身体的・精神的状況が長期間一定のレベルに保たれることはまれである。家庭復帰ができず、状態急変により医療機関へ再入院する「逆通過」のケースもある。また高齢のため、あらたな疾患にかかって状態が悪化することもある。こうした事態に直面した際、速やかに対応できる体制を確立しておくことは老健施設の責務である。
例題	入所されている方に対しての面会の必要性や効果について述べよ。
解答	老健施設は利用者の家庭復帰を目指す通過施設であり復帰後の対人関係が持てるように面会の機会を多く作る。又、高齢者は孤独感や疎外感に陥りやすいので面会は意欲をよみがえらせるために効果的である。

上級試験

第7分野	薬剤管理(在庫管理、経費節減)
解説	医薬品の管理は、薬事法や毒物劇物取締法の規定に従って、適切な管理を行わなければならない。医薬品とは 日本薬局方におさめられているもの 疾病の診断・治療または予防を目的とするもので、医薬部外品および器具器械でないもの 身体の構造または機能に影響を及ぼすことを目的とするもので、医薬部外品・化粧品および器具器械でないものをいう。医薬品の取り扱いとして、毒薬の容器には、黒地に白枠・白字でその品名および「毒」の文字を、劇薬の容器には白地に赤枠・赤字でその品名および「劇」の文字を記載しなければならない。毒薬・劇薬の貯蔵・陳列は他の物と区別し、毒薬については鍵をかけておかなければならない。また管理の責任者は薬剤師であるが、日常的には看護部門長の監督下にある。
例題	薬品の在庫管理について注意すべき点を述べよ。
解答	冷所保管、遮光保管が必要なものに注意し、有効期間、使用期限のあるものを確認しながら、最低在庫量を維持し、デッドストックをつくらない。 麻薬、劇薬の保管には法規上の規定があるので、取り扱いには厳重な注意が必要となる。

上級試験

第8分野	看護の役割
解説	老健施設での看護は生活介護を主体とする点で病院の看護とは異なっており、看護業務の法的責任や倫理的責任を理解したうえで、利用者の健康管理・診察補助・療養上の世話およびリハビリ、看護の役割を担当する。法的責任には管理者責任、職種責任、当事者責任をはじめ刑事責任、民事責任などがあり、そのほか判例や慣行による場合もある。また倫理性向上の視点として信頼関係：利用者およびその家族と職員の間には相互信頼関係が大切であり、日頃から説明・納得・了解の手順を徹底しておく必要がある。安全の保障：療養・介護ではつねに安全を心がける。そのためには施設・職員が一体となって誠心誠意その任にあたる。言動の注意：利用者や家族は職員の言動に敏感で、心理的に傷つきやすく、このことがケアの継続に支障を来すことになる。したがって職員各自の認識が基本となる。人権の尊重：利用者に対して差別のない処遇と人権の尊重を心がける。守秘義務：義務上知り得た個人の秘密は厳守する。老健施設に勤務する看護職員や医師は病院での経験を積んだ者が多いため、タテ系統に固執しやすい傾向にある。従来の病院のようなタテ系統を持ち込むのは利用者にとってプラスにならないため、各職種が対等な立場で協力して業務を遂行しなければならない。医師は側面的に利用者の健康を管理する立場をとり、老健施設での主役はあくまでも看護職員、介護職員、OT・PTなどの現場職員である。
例題	看護職員の法的責任について述べよ。
解答	医師業務は禁止されているが、診療補助、療養上の世話は看護独占業務とされ、医師の指示に基づく業務も規定されている。利用者の安全のため、看護職自らのため、その業務範囲は看護知識と技術で可能な範囲に限る必要がある。具体的には、利用者の健康管理、診療補助、療養上の世話、リハビリなどを計画、実践する。介護職員の指導や他職種との連携によって、ケアの質的向上の調整役を務める。
例題	病院では治療を目的とする為、1つの指示・命令系統が必要でタテ系統のシステムとなっているが老健施設では看護と介護はヨコ系統の連携が重要なのはなぜか述べよ。
解答	タテ系統では上下関係が生じ業務の間に「すき間」が生じる危険性があるため、ヨコの関係で連携を図り、すべての職員が利用者のQOLの向上のために一体となって援助しなければならない。

上級試験

第9分野	リハビリテーション
解説	・日常生活動作(ADL)とは、私たちが日常行っている基本動作(寝返る、起きあがる、座る、立ち上がる、歩くもしくは車椅子を操作するなど)、食事動作、整容動作(手や顔を洗う、歯を磨く、整髪する、爪を切るなど)、更衣動作、トイレ動作、入浴動作およびそれらに付随する動作などを言います。健康である人々は、日常的な種々動作を何も考えず、無意識に近い状態で行っているが、体に麻痺があったり、関節の動きが十分でなかったり、痛みのために思うような動きができなかったり、等様々な原因で、日常的に行っていた動作が困難になってきます。 ・関節拘縮の原因は、関節疾患(外傷や退行変性疾患、炎症性疾患、感染性疾患など)により発生する場合と、関節以外の疾患(骨折や神経麻痺、筋肉疾患など)により発生する場合と、ギブス療法や手術療法などの医療行為により発生する場合があります。訓練は自動的運動法と他動的運動法とに分かれます。自動的運動法とは自力で行う、いわゆるストレッチングを言います。他動的運動法とは介助者が行う訓練法で拘縮が強い症例や麻痺を伴った症例、筋力が弱いために自動的運動法が困難な症例に行われます。原則的には自力による自動的運動法が望ましいと考えられています。訓練方法は、まず各種の温熱療法にて関節の痛みを和らげてのち、痛くない範囲で、反動をつけず、ゆっくりと行います。全ての関節の運動(伸展や屈曲、外転、内転、外旋、内旋、外反、内反など)で行い、最大の関節可動域(最もよく動く位置)で20秒間ストレッチします。5回をワンセットとし一日3セット行うように指導します。 ・レクリエーションリハビリの指導には、身体的・精神的活動能力の改善が、生活能力として発揮されるためには、日々のケアの場面で、『本人の持っている動作能力を引き出す介助方法』が実践されなければならない為、自立支援を目指したりハビリを効果的に進めるためにも、リハビリ専門員と看護・介護職員とが、協力して行うことが大切です。また、訓練の実施の仕方はリハビリを行う人の身体機能・精神機能・社会機能によって変わってきます。又、訓練実施する際は、相手の意志がとても重要であり、実施する時間も、その人に合わせた訓練時間の設定行い次の日まで、疲れが残らないようにします。
例題	リハビリの方法には様々あるが、具体的にどのようなものがあるか3つ答えなさい。
解答	1、個別訓練 2、グループ訓練 3、趣味・レクリエーション(集団)訓練
例題	生活動作機能訓練とは、何か簡単に説明しなさい。
解答	障害を持ちながら動作訓練、動作方法の工夫、機具・自助具(不自由な動作を補助する簡単な道具)などの利用、動作環境の整備・改善などを行う。また、訓練そのものをおして精神・心理的障害に対して治療を行う。
例題	老人保健施設におけるリハビリ・ケアにおいて主要な課題について4つ答えなさい。
解答	1、日常生活における活動性そのものを高める工夫を意識的・積極的に行う。 2、基本的動作、起立・移乗動作などの確立をする。 3、排泄・入浴・更衣動作などADLの自立を目指す。 4、痴呆症状の緩和
例題	痴呆性高齢者のリハビリテーションの方法が大きく3つあるが何か答えよ。
解答	1、介護 2、セラピー・ティックレクリエーション 3、環境的アプローチ
例題	関節可動域訓練とは何か答えなさい。
解答	関節可動域訓練(ROM)とは関節拘縮(関節が固まって動きが悪くなった状態)を改善する治療法です。

上級試験

第10分野	居宅サービス
解説	機能訓練は、廃用症候群の予防と改善、基本動作能力、日常生活動作の維持・改善の為行われる。 ・訪問看護の提供は訪問看護ステーション、医療機関に限られる。 ・提供時間によって介護報酬が異なり、利用者負担も異なってくる。 ・主治医の指示によって提供が開始され、密接な連携が求められる。 ・訪問介護サービスは、居宅サービス計画書及び、訪問介護計画に沿って提供されなければならない。 ・訪問介護は、1時間以上のサービスについては、30分増すごとに介護報酬が加算される。 ・訪問介護の提供は、介護福祉士、厚生大臣が定める者に限られる。 ・訪問入浴サービスは、居宅サービス計画書に沿って提供されなければならない。また、設備、器具などの安全性と清潔保持に留意しなければならない。 ・訪問入浴の提供は、看護職員、介護職員が行うものである。しかし、主治医の意見を確認した上で介護職員のみで提供してもよい。 その活動は、障害者や老人のニーズに対し、身近で素早く、包括的、継続的、体系的に対応しうるものでなければならない。 ・短期入所介護は、居宅サービスの一つに位置づけられている。 ・家族の身体的・精神的介護負担の軽減を図る事も目的としている。 ・サービス提供に際して入所前、退所後のサービスとの継続を図る。 ・短期入所介護計画の作成は、チームによるカンファレンスが基本である。 ・短期入所介護は、従来の福祉施設で行われていたショーとステイの事を言う。 ・福祉用具貸与は、利用者の心身状況や換気用を十分に踏まえて行う。 ・用具の清潔、安全性と正常な機能の保持には十分に留意しなければならない。 ・貸与にあたっては使用方法や使用上の留意点なども説明する。 ・使用状況を確認し、必要な場合は使用方法の指導、修理もおこなう。 ・福祉用具貸与は、介護保険では、居宅サービスとして位置づけられている。
例題	短期入所療養介護は、医学的管理のもとどのようなサービスが提供されるか。
解答	介護及び日常生活に必要な生活機能の改善、維持の為の機能訓練
例題	訪問看護とは何か答えよ
解答	訪問看護ステーションまたは医療機関から看護・リハビリ職員などが、居宅を訪問して療養上の世話または必要な診療の補助などを行うサービスである。
例題	訪問介護とは何か答えよ
解答	ホームヘルプサービスであり、居宅を訪問して、入浴、排泄、食事などの身体介護、掃除、洗濯、調理などの家事援助など日常生活上の世話を行うサービスである。
例題	訪問入浴介護とは何か答えよ
解答	居宅要介護者等について、看護、介護職員が居宅を訪問して、浴槽を提供して身体の清潔保持、心身機能の維持を図る入浴援助サービスである。また、介護保険では、居宅サービスとして位置づけられている。
例題	地域リハビリテーションとは何か。
解答	障害を持つ人々や老人が、住み慣れたところで地域住民と共に安心した生活が送れるよう、医療や保健、福祉及び生活に関わるあらゆる人々がリハビリテーションの立場から行う活動の全てをいう。
例題	短期入所介護とは何か答えよ
解答	利用者の心身の状況、家族の疾病、冠婚葬祭、出張や身体的・精神的負担などの理由で一時的に居宅での日常生活が困難な利用者に短期入所してもらい、その人の能力に応じた自立生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話、機能訓練を行うサービスである。
例題	福祉用具貸与とは何か答えよ
解答	利用者の心身状況、環境などを踏まえて、車椅子、特殊寝台、手すり、スロープ、歩行器、歩行補助杖など、厚生労働大臣が定める自立支援を目的とする福祉用具の貸与を行うサービスである。